

# 平成 28 年度「自己評価報告書」

社会福祉法人愛護会  
第二東水沢保育園

## I 保育目標

- 健康で明るい子ども
- 自分のことは自分でできる子ども
- 自然に親しみ、愛することのできる子ども
- 人の話をしっかり聞き、自分の意思を言葉で話せる子ども
- なぜだろうと考え、物事に疑問をもつ子ども
- 他人のことを考え、協力できる子ども
- 豊かな心を持つ子ども

## II 施設運営の重点課題

- 保育内容の充実
- 障がい児保育の充実
- 職員の資質向上
- 風の子農園運営
- 食育指導の充実
- 地域社会や社会資源の積極的活用
- 子育て支援活動の推進と地域福祉の向上

### 評価の基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

## III 評価項目と取り組み状況

自己評価項目		評価	取り組み状況
1	保育内容の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ひとりの発達についてその過程や特徴に応じた保育を行った。</li> <li>・子どもの生活や遊びを通し、養護と教育が相互に関連を持つ保育を展開することができた。</li> </ul>
2	地域社会資源の積極的活用	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人から新しい社会資源・地域の情報をいただき保育に活用し多様な保育が出来た。</li> <li>・5歳児は室根山登山、頂上から東に太平洋、西に奥羽山脈の大パノラマを見る事ができ自然の雄大さに感動し生きる力を育むことができた。</li> </ul>
3	風の子農園運営	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30種以上の野菜を育てることを通しそれぞれに花・葉・実が違うこと、似ていることなど発見する力が育ち、次はどうなるのかと期待する科学の力を育てることができた。</li> <li>・できた野菜をさまざまな料理にする事で食べる楽しみや意欲が育った。</li> </ul>

4	障がい児保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達過程や様々な障がいに応じた保育が出来るよう、家庭、保育園、専門機関と連携を取りながら障がい児保育の充実を図る。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立療育センター・市幼児教室またその他の専門機関の方々と一人ひとりの発達について詳しく検討し保育を進めることができた。</li> <li>幼児教室・保護者・園との話し合いも多く持つことができた。</li> <li>子どもたちの集団のなかでの成長は大きいものがあったといえる。</li> </ul>
5	子育て支援活動を通し地域福祉推進の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>東水沢保育園に協力し地域の子育て支援活動の推進に努めるとともに地域福祉向上を図る。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>東水沢保育園子育て支援への協力はほとんどできなかった。</li> <li>園独自では月2回発行のクラスだよりに子育てコーナーを設け家庭保育のアドバイスをを行った。</li> <li>信用金庫の一言を借りて保健だよりや保育行事の紹介を行うことができ地域子育て支援となった。</li> </ul>
6	食育指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育参加日を利用し親子クッキングを行いながら食の大切さや料理への興味を高め食育の指導を行う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>畑で収穫した野菜やプランターで育てた野菜を年齢ごとに様々に工夫して料理作りを楽しむことができた。食事作りの参考にもしていただくことができた。</li> <li>文化祭食事コーナーでは子どもに与えた食事見本の展示・試食を用意し地域や父母の方々に食の大切さを啓蒙できた。</li> </ul>
7	職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修会への参加、保育事業部会研修及び園内研修を深め子どもの発達を尊び保護者、地域住民に信頼される力量を備えた保育者を目指す。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育事業部会研修は子供の発達と身体リズム運動遊びを中心として取り組んだ。</li> <li>部会内公開研修を子どもの年齢別に行い指導の仕方やリズムの正しい動き方を学習できた。また、講師を招いて身体リズム運動の動きを学んだ。</li> <li>たくましい子を生み育てる実践・研究は年齢別に子どもの発達と具体的保育について学習し合った。</li> </ul>